

令和 7 年 12 月 2 日

国土交通省 中部地方整備局

静岡国道事務所

国道 1 号^{せいしん}静岡バイパス^{しみず} 清水立体事業
令和 8 年度内 上り線（東京向き）開通予定

◆お知らせ内容

国道 1 号^{せいしん}静岡バイパスは、平成 30 年に^{まきがや}牧ヶ谷 IC～^{まりこ}丸子 IC の^{まりこ}丸子藁科トンネル完成により全線 4 車線化が完了し、現在は、唯一平面で残る^{とうめいしみず}東名清水 IC 周辺を高架化する^{しみず}清水立体事業を実施しています。

令和 5 年 7 月に発生した橋桁落下事故を踏まえ、これまでに安全最優先で工事を進めてまいりました。

このたび、令和 7 年 11 月 27 日に上り線全ての橋梁上部工工事が完了したことから、令和 8 年度内の開通見通しが立ちましたので、お知らせします。

なお、引き続き、安全最優先で事業を進めて参りますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

【開通見通しお知らせ箇所】

○開通時期：令和 8 年度内開通予定

○開通箇所：国道 1 号^{せいしん}静岡バイパス^{しみず}清水立体事業 上り線（延長 2.4km）

資料

- ・ 国道 1 号静岡バイパス清水立体事業の概要 …… 別紙 1
- ・ 上り線開通により期待される効果（交通渋滞の緩和） …… 別紙 2
- ・ 上り線開通により期待される効果（物流効率化の支援） …… 別紙 3

1. 配布先等

静岡県政記者クラブ、静岡市記者クラブ

2. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 副所長 ^{つじ}辻 ^{ひでお}英雄
計画課長 ^{おかだ}岡田 ^{ゆたか}豊

TEL 054-250-8900

- 国道 1 号静岡バイパスは、平成30年に牧ヶ谷IC～丸子ICの丸子藁科トンネル完成により全線 4 車線化が完了し、現在は、唯一平面で残る東名清水IC周辺を高架化する清水立体事業を実施しています。
- 令和 5 年度に落橋した尾羽第 2 高架橋含めて、最後の清水IC第 2 高架橋の上部工の架設が完了したため、工程精査し、令和8年度内の開通見通しが立ちましたので、お知らせします。

■ 位置図

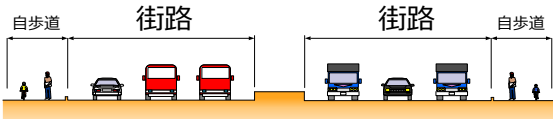


＜計画の諸元と事業経緯＞

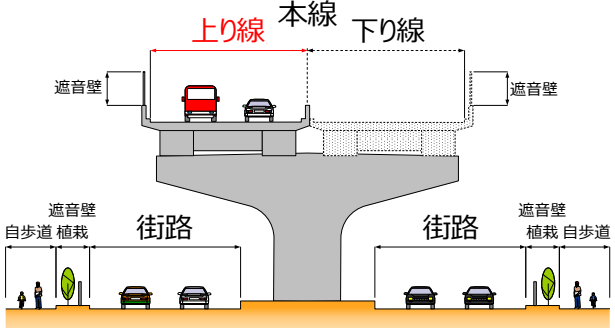
事業名	一般国道1号 静岡バイパス
区間	起) 静岡県静岡市清水区興津東町 終) 静岡県静岡市駿河区丸子二軒家
延長	24.2km
道路規格	第 1 種第 3 級 (一部第 3 種第 1 級)
車線数	4 車線
清水立体事業経緯	平成 1 9 年度：都市計画決定 平成 2 1 年度：用地着手 平成 2 8 年度：工事着手

■ 標準断面図（庵原交差点～清水IC西交差点）

【現況】



【上り線開通時】



■ 工事進捗状況



【清水IC第 2 高架橋付近】

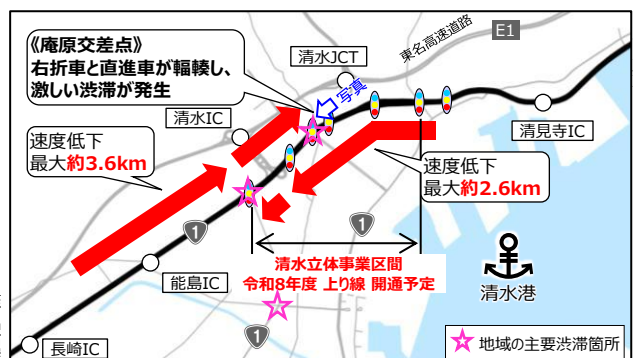


【尾羽第 2 高架橋付近】

- 唯一平面で残る東名清水IC周辺においては、広域交通と地域交通に加え、清水ICから清水港に向かう交通等が輻輳し、激しい渋滞が発生しています。
- 上り線の開通により、これら交通を高架部と街路部とに、適正に分担させることで、渋滞の緩和、交通安全の確保を図ります。
- また、清水区市街地を東西に横断する交通等が静清バイパスへ転換することで、市内の交通環境の改善が期待されます。

いはら

■ 庵原交差点付近の渋滞状況

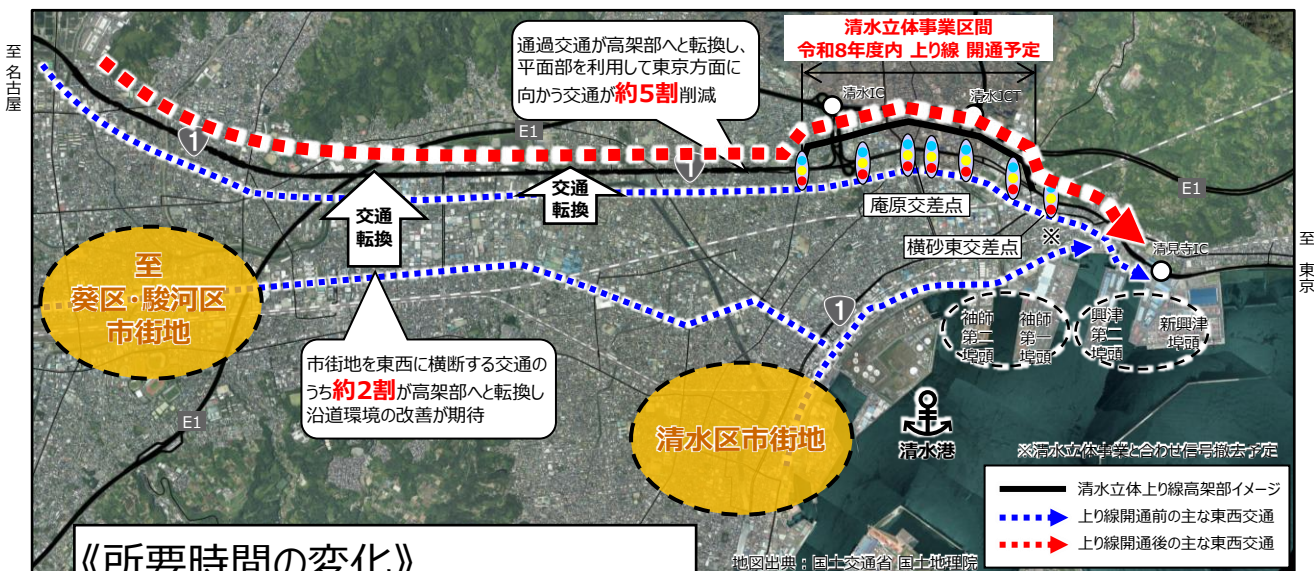


【庵原交差点付近の速度低下】

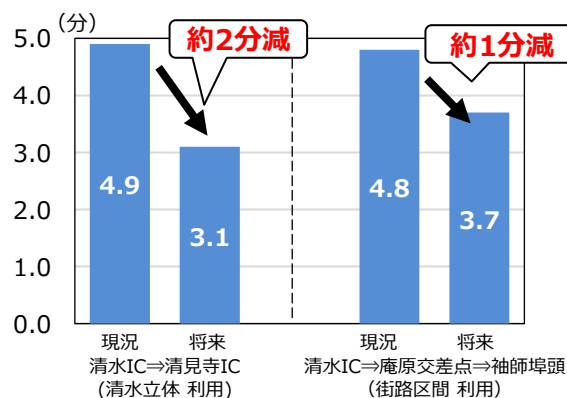


【渋滞状況】

■ 静清バイパス整備による交通流動の変化イメージ



《所要時間の変化》



・整備による転換交通割合：交通量推計結果より

【データ】 ETC2.0プローブ情報

・現況：R5.4～R6.4月平日 朝ピーク時 [7～9時]の所要時間の最頻値

・将来：(清水立体) 旅行速度60km/hで所要時間を算出

(街路区間) 非混雑時間における平均旅行速度で所要時間を算出

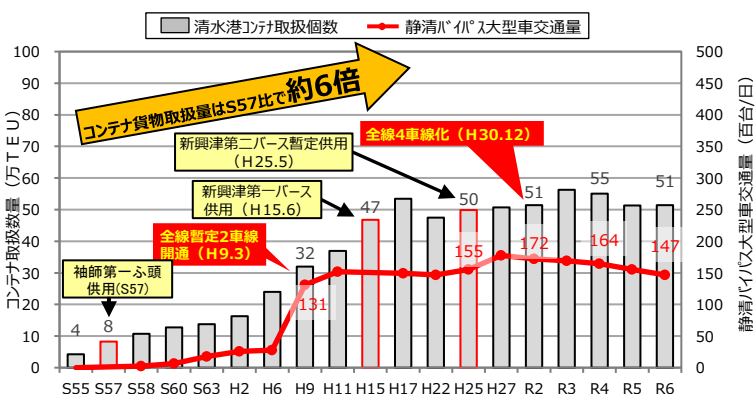
(上記以外区間) R5.4～R6.4月平日 朝ピーク時 [7～9時]の所要時間の最頻値

- 国道1号沿線には、新たな物流拠点の立地が顕著であり、これまでの静清バイパスの整備と合わせて大型車交通量・コンテナ取扱量も増加傾向です。
- 上り線の開通により、更なる港湾物流の活性化が期待されます。

■ 静清バイパス沿線の物流拠点及び清水港への利用経路



■ 静清バイパス大型車交通量と清水港取扱貨物量の推移



■ 物流企業の声

- ・清水立体区間の渋滞が運転時間を増加させています。
- ・輸送時には国道1号バイパスを利用していますが、輸送時間が短縮することでコストが抑えられるため、企業にとって大きなメリットになります。

